

鎌倉ウォーキング実施もよう

1.日時：2025 年 6 月 21 日(土) 10 時～15 時 00 分

2.集合場所：JR 鎌倉駅 東口改札口

3.参加者(敬称略)：阿部、加藤(實)、甘粕、篠崎、松浦、平野、早坂夫妻、小林、宮本、高橋 埼玉から 1 人 神奈川 10 人 計 11 名

4.コース：JR 鎌倉駅～バス十二所～明王院～一条恵観山荘～浄妙寺～杉本寺～覚園寺～鎌倉宮バス停～JR 鎌倉駅

5.実施もよう

梅雨入り間もない 6 月 15 日予定していたが、当日雨のため予備日に変更した途端に梅雨前線が消滅し毎日晴天もよう、この日も 6 月としては暑く、汗をかきながらのウォーキングでした。



鎌倉駅で集合し、鎌倉の中でも、比較的訪れる人が少ない金沢街道沿いの寺々等を巡るコースを実施した。

金沢街道は鎌倉と横浜金沢を結ぶ重要な道として発展し金沢の塩田でとれた塩を鎌倉へ運ぶための「塩の道」でもあった。

今回はこのような金沢街道沿いの由緒ある寺を巡るコースである。

バスで十二所まで移動、最初は「明王院」へ、鎌倉幕府の将軍屋敷の鬼門除けとして創建された。ひなびた茅葺屋根の寺である。



ここからウォーキングの始まりである。

次は後陽成天皇の第九皇子の一条恵観により営まれ、江戸時代初期京都・西賀茂に建てられた由緒ある邸宅、昭和 39 年鎌倉に移築され国の重要文化財にも指定されている一条恵観山荘へ、滑川の溪流沿いに建つここは鎌倉で京都の風情を感じ取ることができる唯一の場所である。特に紅葉の時期がお勧めです。



皆さん思い思いに京都の風情を楽しんだ後、浄妙寺へ鎌倉五山の第5位の寺格を持つ古刹で、境内は広く立派な寺である。



足利尊氏の父である足利貞氏の墓をお参りしたあと、境内の木陰の涼しい場所でのんびり昼食、寺の中に石窯ガーデンテラスのカフェがありスイーツに女性の人気があるとの事、

続いて竹林で有名な報国寺へ行く予定であったが、先導者がというっかり通り過ぎまもなく杉本寺へ、

この寺は聖武天皇の後である光明皇后の御願により 730 前の創建でここも茅葺屋根の古刹で、歴史を感じる



今は通行できない苔むした階段に目を奪われる。この寺は階段が多く気を付けながら慎重に行く。

階段を降りた所で一服、

次は鎌倉宮を経由して本日の主目的の寺覚園寺へ、1218 年、北条義時公の薬師如来信仰により建てられた大倉薬師堂が、覚園寺のはじまりである。



1296 年、北条貞時公が、元寇の再来がないように願い、智海心慧律師を開山として、真言・天台・禅・浄土の四宗を学べる道場を覚園寺とした。

本堂薬師堂を中心とする堂宇、数多くの仏像、古趣あふれる自然環境が一体となった、中世鎌倉の祈りをささげる空間、「鎌倉らしさ」を感じとることのできる寺である。

本堂 薬師堂は 覚園寺の中心となるお堂である。



覚園寺は創建当時のお堂は焼失し、現在の薬師堂は、1354 年に再建された建物が元になり、以来何度も修繕を重ねられてきている。中央には本尊 薬師右に日光菩薩、左に月光菩薩さらにその外には、中央の薬師 三尊を守護し、参拝者を勇気づける等身大の十二神将像がまつられている。十二神将は干支の象徴でもあり神将の頭頂部に干支の動物がつけられている。自分の干支にお参りし改めて良く見ると睨みつけられているようで息をのむ迫力が迫ってくる。

天井には龍の絵と棟札には、再建者である足利尊氏の自筆の銘がある。



鎌倉に来られた時は是非寛園寺薬師堂の室町時代の仏像を拝観して欲しい。また境内の風情も薬師堂と伴に中世鎌倉風情を感じ取ることができると思っています。

無我の境地に心身ともに浄化された想いである。

堂内のお守り役の「おびんずる」様をさわり自分の健康を願い今日のウォーキングは終了し、鎌倉宮からバスで鎌倉駅へ、

有志による懇親会を大船で実施した。

一杯入ると気分も若返り青春そのもの日頃の状況等の自己紹介であっという間の2時間でした。



皆さん大変お疲れ様でした。

追伸「鎌倉の寺の中には境内写真撮影ができない寺も多く写真の一部はwebより引用しました。

(幹事：宮本、高橋)